

白島新駅のデザイン見直しにおける「花と緑の広島づくり」の取組について

1 見直しにあたっての基本的考え方

事業費縮減の観点のもとより、白島新駅が、新たな交通結節点として都心エリアへの主要動線の一つとなり、多くの来訪者等の利用も見込まれる施設となることから、広島ならではの「おもてなしの心」を表現する場としても活用できるよう、「花と緑の広島づくり」の観点も踏まえ、見直しを行いました。

2 デザイン見直しの内容

(1) 白島新駅本体については、当初計画どおりですが、事業費縮減の観点から、連絡通路部分の屋根を簡素な構造形態へ見直すこととし、ドーム状の屋根を取りやめて、歩行者の通行に必要な動線部分のみに屋根を設置します。

(2) 「花と緑の広島づくり」の観点から、利用者の動線軸となる中央部の連絡通路において、快適な歩行空間づくりを目指し、地元関係者と協働して、花と緑にあふれる空間づくりに取り組みます。

また、今回見直しを行った連絡通路の屋根については、国道横断部の連絡通路（2階レベル）から容易に視認できることから、中央部連絡通路全体として統一感のある空間を創出するため、屋根の緑化に取り組みます。

3 建設コストの縮減

縮減額：▲約6億円 見直し後の総事業費：約65億円

(内訳)アストラムライン白島新駅：約33億円、連絡通路：約12億円、JR新駅：約16億円、周辺整備：約4億円

<見直しイメージ図>

